結語

本プロジェクトの研究目的は「政府の産業政策と経済厚生に関する理論的および実証的研究を行う」ものである．特に，企業と政府の戦略的行動，情報の非対称性，および産業政策との関連について考察し，政府による産業政策の決定，制度選択，並びに企業および消費者に対する経済厚生上のインパクトを明らかにすることを研究の目的としている．

本研究は，産業政策を評価する理論的枠組みを提示し，政策決定に対する主要な要因等をコントラクト・セオリーおよびゲーム・セオリーのアプローチ等により考察し，特定の産業に関する実証的研究，ならびに，産業政策に関する新しい概念に基づく日本経済の実証的分析を行うものである．より具体的に言えば，本研究は，コントラクト・セオリーおよびゲーム・セオリーに基づくモデルを構築し，最適契約および均衡の特徴及びその経済的インプリケーションについて考察するものである．また，寡占産業における規格変更の効果に関する実証分析を基に，その政策的インプリケーションについて検討する．さらに，日本における創造的破壊機能の低下とそれに対処するための産業政策の考察を行う研究を実施するものである．

小林が実施した研究は，私的情報を有する複数エージェントが存する下で，組織構造とモニタリングに関する理論的分析を行ったものである．本研究においては，政策決定と産業構造の決定がコントラクト・ゲームとして分析され，均衡契約の特徴およびその経済的インプリケーションが考察された．竹中教授による研究は，軽乗用車の規格の変更が軽乗用車および競合関係にある小型乗用車それぞれの国内販売台数と平均価格に与えた影響を実証する研究である．

権教授による研究では，創造的な破壊機能の低下の原因を探り，日本政府が創造的破壊機能を高めるために行った様々産業政策を整理し，一部の政策の効果を分析している．権論文では，創造的な破壊機能と関連する産業政策である大学ベンチャー企業設立に関する平沼計画の効果があったかどうかについて検討している．権論文は，大学からのベンチャー企業活動を支援する政策や制度変更は数値目標だけではなく，時価総額や IPO に占める割合からみて効果があったことを確認している．

以上で，産業経営研究プロジェクト「産業政策と経済厚生」において実施した研究の概要に関する報告を終える．

謝辞：本共同研究プロジェクトを実施するにあたり，日本大学経済学部産業経営研究所による研究助成を受けたことを記し，謹んで感謝の意を表する．